

オディエルノ陸軍参謀総長との会談結果概要

- 1 日時及び場所
平成26年12月17日(水) 1630-1700 米国防総省
- 2 会談概要

河野統幕長

本日は時間をとっていただき感謝する。海幕長を務めていたことから、これまでは海軍との交流が多かった。今回は陸軍とも関係を持つことができ喜ばしく思っている。

米陸軍協会年次総会に岩田陸幕長が参加し、よい議論ができたという報告を受けた。今回は情勢認識等について議論できればと思う。

14日に衆院選挙があり、与党が圧勝した。集団的自衛権や安保法制の議論は引き続き進捗するものと認識している。年内に改訂予定であったガイドラインは来年、安保法制の整備に合わせ発表することとなった。集団的自衛権の行使が可能となった場合は米軍と自衛隊との協力関係はより深化するものと考え。

オディエルノ
陸軍参謀長

現在、ガイドラインや安保法制について取り組んでいると思うが予定通りに進んでいるか？ 何か問題はあるか？

河野統幕長

与党の勝利により来年夏までには終了するものと考えている。

今回はデンプシー議長と日米同盟の深化等について議論するため訪米した。

先日、日米共同方面隊指揮所演習を視察する機会を得、後方支援等の分野において内容が充実しており満足している。海軍種同士はこれまで連携があったが、陸軍同士も協力関係が強化されている。演習後、ブルックス太平洋陸軍司令官とのセミナーは充実したものであった。

オディエルノ
陸軍参謀長

本日はお時間を取っていただき感謝する。岩田陸幕長とはよい関係を築いており、数ヶ月前に訪日した際は、陸上自衛隊の目標について説明を受けた。陸上自衛隊と米陸軍がともに強化できる分野と陸上自衛隊の能力強化をすべき分野について議論した。また離島奪回に際し、いかに戦力を投入するかといったエア・アサルトについ